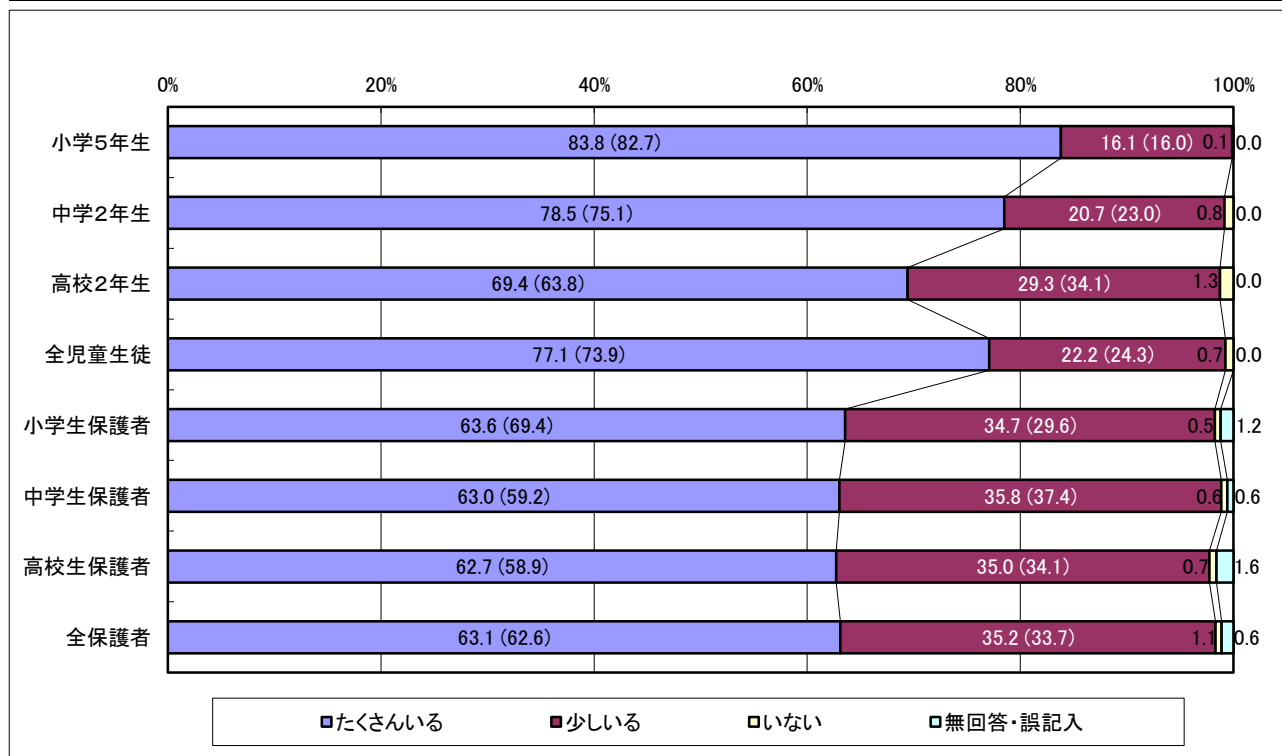


#### IV 人間関係に対する意識

##### 1 友だちの有無 【小学5年生…問19】 【中学2年生…問19】 【高校2年生…問19】 【保護者…問18】

あなたは友だちがいますか。次の中からあてはまるものを一つ選んで、番号を○でかこんでください。

1 たくさんいる 2 少しいる 3 いない 4 わからない



- 友だちが「たくさんいる」「少しいる」を回答した児童生徒の割合は、ほぼ 100%である（小5 99.9%、中2 99.2% 高2 98.7%）。
- 友だちが「たくさんいる」と回答した保護者の割合は、平成 19 年度と比較して小保護者は 5.8 ポイント減少し、中、高保護者ともに 3.8 ポイント増加している。

##### 【経年比較】「友だちの有無」に「たくさんいる」「少しいる」と回答した割合（児童生徒）

対象 \ 年度	平成 14 年度	平成 19 年度	平成 24 年度	10 年前との比較
小学 5 年生	98.5%	98.7%	99.9%	+1.4
中学 2 年生	98.3%	98.1%	99.2%	+0.9
高校 2 年生	99.4%	97.9%	98.7%	-0.7
全児童生徒	98.8%	98.2%	99.3%	+0.5

##### 【経年比較】「友だちの有無」に「たくさんいる」「少しいる」と回答した割合（保護者）

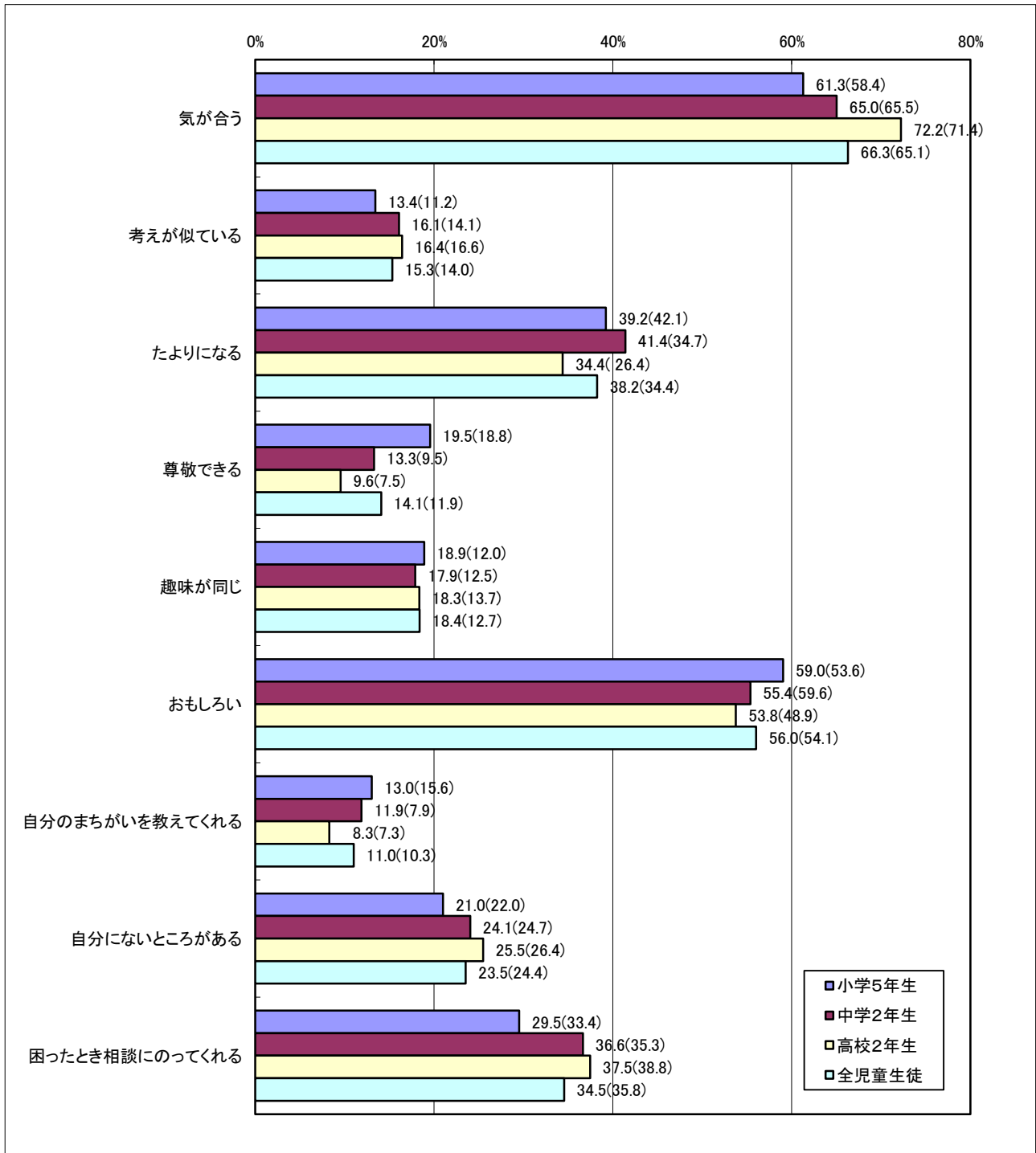
対象 \ 年度	平成 14 年度	平成 19 年度	平成 24 年度	10 年前との比較
小学生保護者	97.9%	99.0%	98.3%	+0.4
中学生保護者	97.7%	96.6%	98.8%	+1.1
高校生保護者	97.4%	93.0%	97.7%	+0.3
全保護者	97.6%	96.3%	98.7%	+1.1

- この 10 年の経年比較を見ると、全児童生徒、全保護者ともに年度による差は小さい。また、少数ではあるが友だちがいないと感じている児童生徒、保護者がいる。

2 友だちはどんな人 【小学5年生…問20】 【中学2年生…問20】 【高校2年生…問20】

問19で「たくさんいる」または「少しいる」と答えた人に聞きます。友だちはどのような人ですか。次の中からあてはまるものを三つまで選んで、番号を○でかこんでください。

- 1 気が合う            2 考えが似ている            3 たよりになる            4 尊敬できる  
 5 趣味が同じ            6 おもしろい            7 自分のまちがいを教えてくれる  
 8 自分にないところがある            9 困ったとき相談にのってくれる



●全児童生徒で回答した割合が高い項目の順は、「気が合う」(66.3%)、「おもしろい」(56.0%)、「たよりになる」(38.2%)である。

【経年比較】「友だちはどんな人」の回答割合が高い項目

小学5年生	順位	平成14年度	平成19年度	平成24年度
	1	おもしろい (63.9%)	気が合う (58.4%)	気が合う (61.3%)
	2	気が合う (60.4%)	おもしろい (53.6%)	おもしろい (59.0%)
	3	困ったときに相談にのってくれる (35.5%)	たよりになる (42.1%)	たよりになる (39.2%)

中学2年生	順位	平成14年度	平成19年度	平成24年度
	1	おもしろい (69.3%)	気が合う (65.5%)	気が合う (65.0%)
	2	気が合う (63.0%)	おもしろい (59.6%)	おもしろい (55.4%)
	3	困ったときに相談にのってくれる (39.5%)	困ったときに相談にのってくれる (35.3%)	たよりになる (41.4%)

高校2年生	順位	平成14年度	平成19年度	平成24年度
	1	気が合う (75.7%)	気が合う (71.4%)	気が合う (72.2%)
	2	おもしろい (56.3%)	おもしろい (48.9%)	おもしろい (53.8%)
	3	困ったときに相談にのってくれる (43.0%)	困ったときに相談にのってくれる (38.3%)	困ったときに相談にのってくれる (37.5%)

●この10年の経年比較を見ると、上位2項目は年度、校種によらず「気が合う」「おもしろい」であり、3位は「困ったときに相談にのってくれる」または「たよりになる」である。

### 3 友だちがいない理由 【小学5年生…問21】 【中学2年生…問21】 【高校2年生…問21】

問19で「いない」と答えた人に聞きます。次の中からあてはまるものを一つ選んで、番号を○でかこんでください。

- 1 友だちはほしいが、付き合いたい人がまわりにいない
- 2 友だちはほしいが、できない
- 3 友だちはいない

※数字は実数

対 象 \ 項 目	友だちはほしいが、付き合いたい人がまわりにいない	友だちはほしいが、できない	友だちはいない	無回答・誤記入	合計
小学5年生	0	1	0	0	1
中学2年生	3	2	1	0	6
高校2年生	1	4	5	0	10
全児童生徒	4	7	6	0	17

●本設問のデータ数は少なく、回答数は小5が1人、中2が6人、高2が10人である。そのうち、「友だちはいない」と回答した児童生徒数は、小5が0人、中2が1人、高2が5人である。

#### 【経年比較】「友だちがいない」と回答した児童生徒数

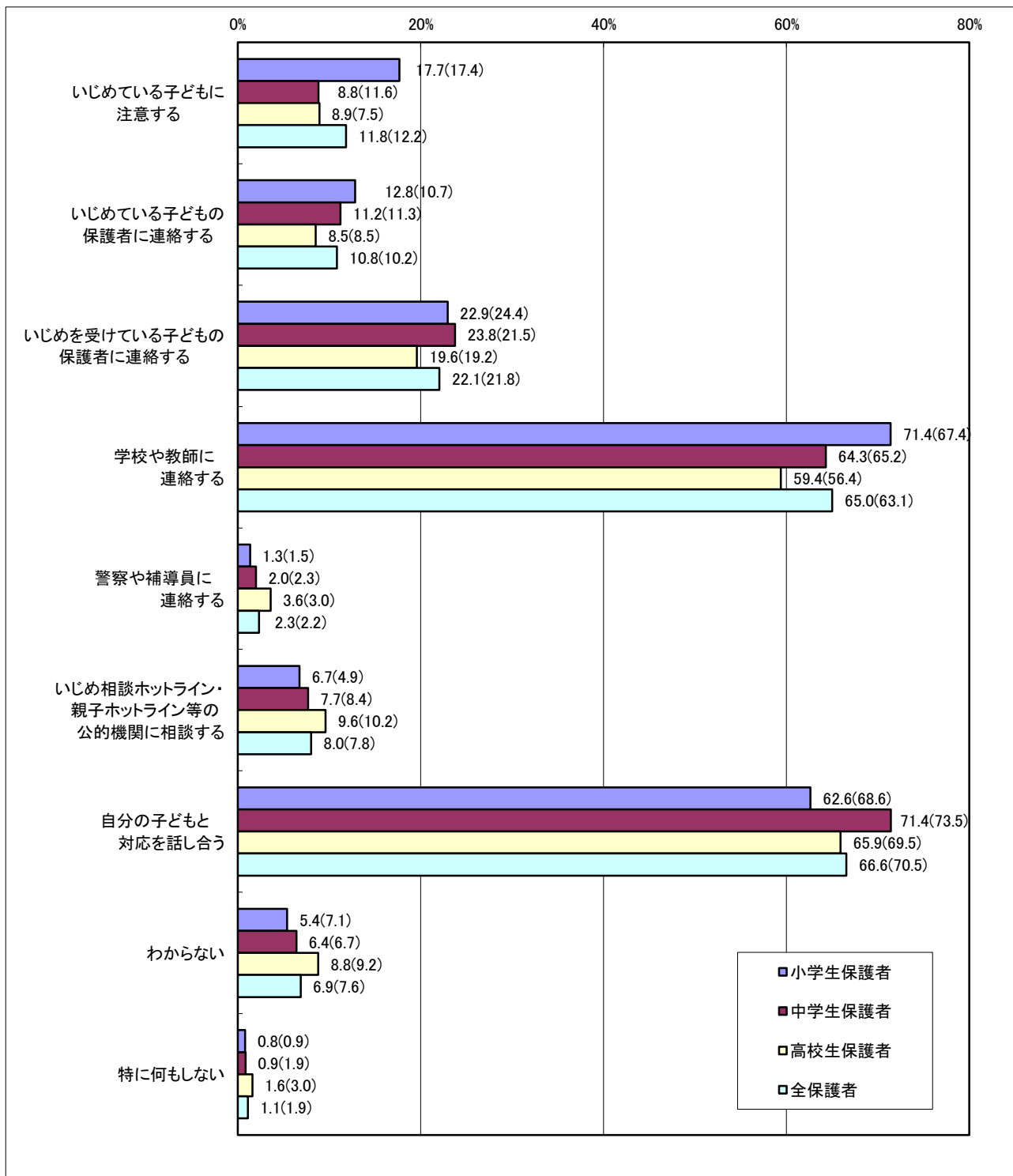
対 象 \ 年 度	平成14年度	平成19年度	平成24年度	10年前との比較
小学5年生	9	4	1	-8
中学2年生	14	11	6	-8
高校2年生	4	8	10	+6
全児童生徒	27	23	17	-10

●この10年の経年比較をみると、小5、中2は減少しているが高2は増加している。全児童生徒では減少している。

#### 4 いじめに対する対応 【保護者…問15】

もしも、子どもの友だちがいじめられていることを知ったら、あなたはどうしますか。次の中からあてはまるものをすべて選んで、番号を○で囲んでください。

- |                                   |                      |
|-----------------------------------|----------------------|
| 1 いじめている子どもに注意する                  | 2 いじめている子どもの保護者に連絡する |
| 3 いじめを受けている子どもの保護者に連絡する           | 4 学校や教師に連絡する         |
| 5 警察や補導員に連絡する                     |                      |
| 6 いじめ相談ホットライン・親子ホットライン等の公的機関に相談する |                      |
| 7 自分の子どもと対応を話し合う                  | 8 わからない              |
| 9 特に何もしない                         |                      |



●全保護者で回答した割合が高いのは、「自分の子どもと対応を話し合う」(66.6%)、「学校や教師に連絡する」(65.0%)である。

【経年比較】「いじめに対する対応」の回答割合が高い項目

小学生保護者	順位	平成14年度	平成19年度	平成24年度
	1	自分の子どもと対応を話し合う (70.2%)	自分の子どもと対応を話し合う (68.6%)	学校や教師に連絡する (71.4%)
	2	学校や教師に連絡する (66.1%)	学校や教師に連絡する (67.4%)	自分の子どもと対応を話し合う (62.6%)
	3	いじめを受けている子どもの保護者に連絡する (31.8%)	いじめを受けている子どもの保護者に連絡する (24.4%)	いじめを受けている子どもの保護者に連絡する (22.9%)

中学生保護者	順位	平成14年度	平成19年度	平成24年度
	1	自分の子どもと対応を話し合う (69.6%)	自分の子どもと対応を話し合う (73.5%)	自分の子どもと対応を話し合う (71.4%)
	2	学校や教師に連絡する (64.7%)	学校や教師に連絡する (65.2%)	学校や教師に連絡する (64.3%)
	3	いじめを受けている子どもの保護者に連絡する (33.3%)	いじめを受けている子どもの保護者に連絡する (21.5%)	いじめを受けている子どもの保護者に連絡する (23.8%)

高校生保護者	順位	平成14年度	平成19年度	平成24年度
	1	自分の子どもと対応を話し合う (71.6%)	自分の子どもと対応を話し合う (69.5%)	自分の子どもと対応を話し合う (65.9%)
	2	学校や教師に連絡する (56.4%)	学校や教師に連絡する (56.4%)	学校や教師に連絡する (59.4%)
	3	いじめを受けている子どもの保護者に連絡する (30.2%)	いじめを受けている子どもの保護者に連絡する (19.2%)	いじめを受けている子どもの保護者に連絡する (19.6%)

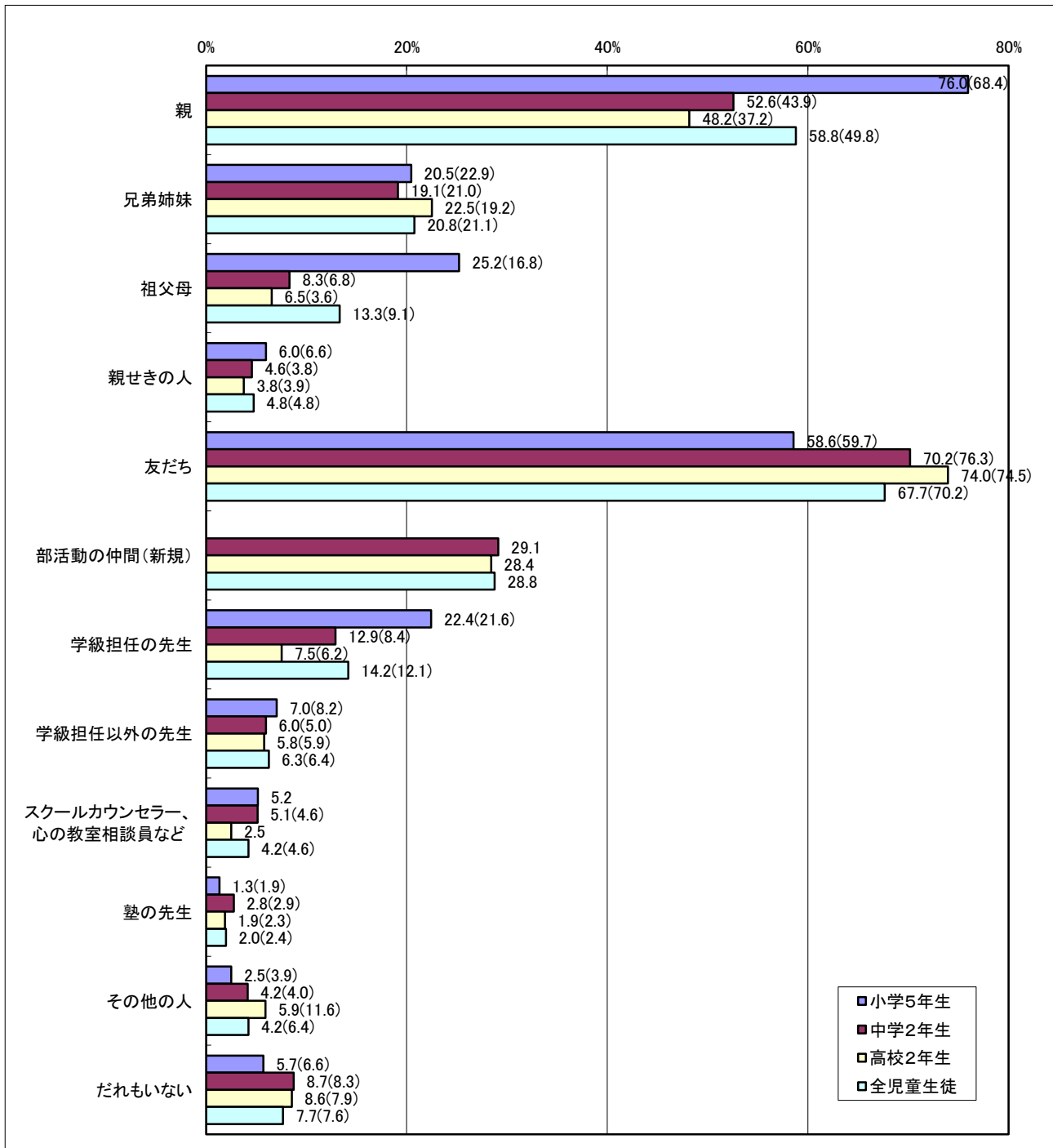
●この10年の経年比較を見ると、上位3項目の内容と順位は年度、校種による違いはほとんどない。

5 何でも話せる人 【小学5年生…問29】 【中学2年生…問30】 【高校2年生…問31】

あなたが困ったことや悩んでいることなど、何でも話せるのはだれですか。次の中からあてはまるものをすべて選んで、番号を○でかこんでください。

- |                        |           |                |          |       |
|------------------------|-----------|----------------|----------|-------|
| 1 親                    | 2 兄弟姉妹    | 3 祖父母          | 4 親せきの人  | 5 友だち |
| 6 部活動の仲間（小5を除く）        | 7 学級担任の先生 | 8 学級担任以外の学校の先生 |          |       |
| 9 スクールカウンセラー、心の教室相談員など | 10 塾の先生   | 11 その他の人       | 12 だれもない |       |

※「(6) 部活動の仲間」は新設。



- 全児童生徒で回答した割合が高いのは、「友だち」(67.7%)、「親」(58.8%)の順である。また、「だれもない」と回答した全児童生徒は7.7%である。
- 小5では「親」が最も多く、次に「友だち」となっている。中2、高2では「友だち」が最も多く、次に「親」となっている。
- 中2、高2では、今回、新たに設けた「部活動の仲間」が3番目に多い。

【経年比較】「何でも話せる人」の回答割合が高い項目

小学5年生	順位	平成14年度	平成19年度	平成24年度
	1	友だち (62.4%)	親 (68.4%)	親 (76.0%)
	2	親 (62.1%)	友だち (59.7%)	友だち (58.6%)
	3	兄弟姉妹 (22.4%)	兄弟姉妹 (22.9%)	祖父母 (25.2%)

中学2年生	順位	平成14年度	平成19年度	平成24年度
	1	友だち (74.1%)	友だち (76.3%)	友だち (70.2%)
	2	親 (38.3%)	親 (43.9%)	親 (52.6%)
	3	兄弟姉妹 (25.3%)	兄弟姉妹 (21.0%)	部活動の仲間 (29.1%)

高校2年生	順位	平成14年度	平成19年度	平成24年度
	1	友だち (74.8%)	友だち (74.5%)	友だち (74.0%)
	2	親 (36.7%)	親 (37.2%)	親 (48.2%)
	3	兄弟姉妹 (28.9%)	兄弟姉妹 (19.2%)	部活動の仲間 (28.4%)

- この10年の経年比較を見ると、全校種において「親」と回答した割合が増加している（小5 13.9ポイント増、中2 14.3ポイント増、高2 11.5ポイント増）。
- 平成14、19年度の上位3項目は、年度、校種によらず「友だち」「親」「兄弟姉妹」である。平成24年度は、「兄弟姉妹」に替わって小5に「祖父母」、中2、高2に「部活動の仲間」（新規）が入っている。
- 小5では、平成14年度は「親」と「友だち」はほぼ同じ割合だったが、平成19年度は、「親」が8.9ポイント多くなり、平成24年度では、17.4ポイントの差で「親」が多くなっている。